

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

令和元年 10月1日

vol.23

発行 武蔵野市環境部ごみ総合対策課
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5 武蔵野クリーンセンター内
電話 0422-60-1802
sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

家庭ごみの出し方「燃やすごみ」「燃やさないごみ」編

家庭から出されたごみは、作業員が一軒一軒の建物を回り、ごみを収集車に積み込み、クリーンセンターに搬入されています。ごみ出しルールが守られないとごみ収集はとても危険で時間もかかってしまいます。収集作業を安全でスムーズに行えるよう、ルールを守ったごみ出しをお願いします。

なぜ 収集日当日の朝9時
までに出さないといけないの？

その日に排出されるごみの量や天候・交通事情等によって収集ルートは変更されますので、必ず収集日当日の朝9時までにお出しく下さい。

なぜ 分別をしっかりと
しなければいけないの？

限りある資源を有効に利用するため、再資源化できるものは分別してリサイクルする必要があります。不適正なごみが混入すると、リサイクルの品質に悪影響があるほか、それを選別し除去するために人件費などで大きなコストが掛かります。

燃やすごみ・燃やさない
ごみは、市指定の有料ごみ袋に
入れて出してください。

指定の場所以外に出すと、
収集員が「ごみ」として判断
できないため、収集が
できません。

刃物や割れたガラスなど
鋭利なものを捨てる際は、危険
なので紙袋や新聞紙に包み、袋に
「刃物あり」などと書いて
出してください。

ごみ袋は、中身が
出ないように袋の口を
結んでください。
(ごみ袋の切り貼りや2つ被せる
ような出し方はしないで
ください。)



*次回号は「資源物」編です。

「危険・有害ごみ」の分別徹底をお願いします

近年、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」の中に、充電電池（リチウムイオン電池等）の混入が増加しています。充電電池は携帯電話やデジタルカメラ、電動歯ブラシ等のコンセントを必要としない家電製品に広く使われています。充電電池や電池は「危険・有害ごみ」です。クリーンセンターでの発煙・発火事故の原因になりますので、分別の徹底をお願いします。

「危険・有害ごみ」にはどんなものがあるの？

- ・ 処理する際に爆発、発火など危険を伴うもの
充電電池、充電電池の取り外せない小型家電、電池、ライター、カセットボンベ、スプレー缶、電子タバコなど
- ・ 水銀や鉛などの有害物質が含まれるもの
水銀体温計、割れていない蛍光管（割れている蛍光管は燃やさないごみへ）、剣山・釣りのオモリなどの鉛製品など

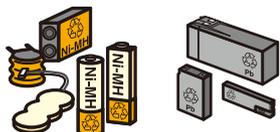
「燃やさないごみ」にリチウムイオン電池などの充電電池が混入すると、破碎する際に圧潰された電池がショートすることにより発熱・発火し、周辺にあるごみ袋などに引火してしまい、大きな火災につながる可能性があります。



充電電池とは…

リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池などの充電できる電池のことです。

右の写真のようなコンセントを必要としない家電製品に含まれています。



携帯電話 スマートフォン・タブレット、wi-fi ルーター



ロボット掃除機 電気シェーバー デジタルカメラ

「危険・有害ごみ」はどうやって出せばいいの？

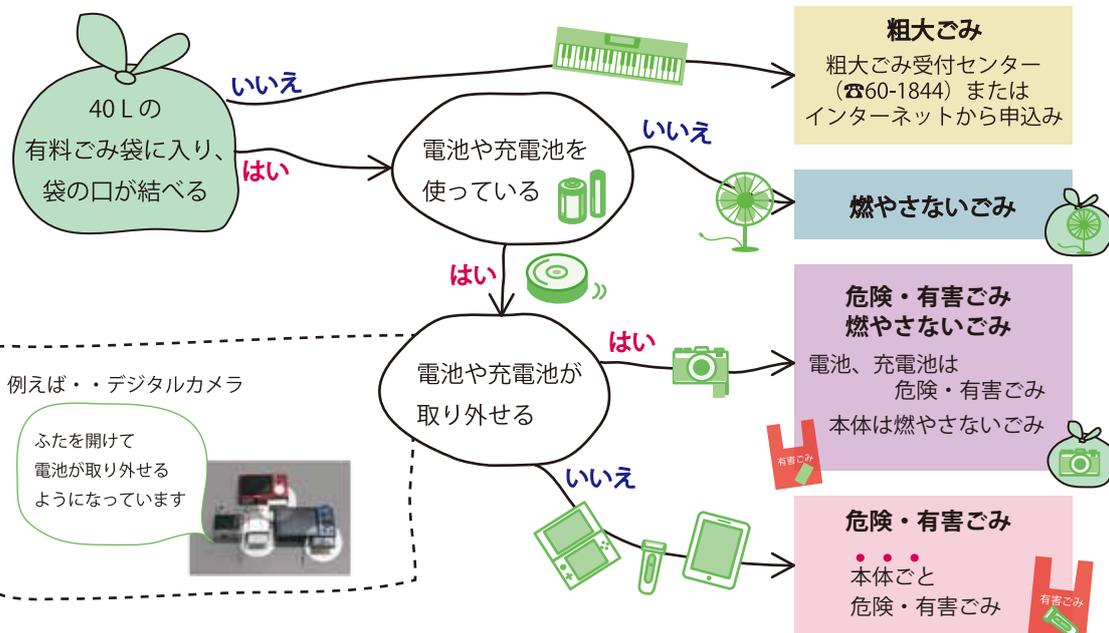
「有害ごみ」とマジックなどで書いた透明または半透明の袋、もしくは赤い危険・有害ごみ袋に入れて出してください。

赤い危険・有害ごみ袋は市役所案内ごみ総合対策課、各市政センターコミセンで配布しています。

電池を抜いた小型家電は、電池がないことがわかるように、ふたは開けたままで、「燃やさないごみ」として出してください。

小型家電の分別フローチャート

電池が入っていないか必ず確認！



むさしの環境フェスタ

日時 令和元年 **11月10日** (日) 午前**10時**~午後**3時** 会場 **武蔵野クリーンセンター**

むさしの環境フェスタは、環境に関する展示・体験企画への参加を通じて、子どもから大人まで、環境について楽しみながら気付き、学べるイベントです。ごみ総合対策課では「フードドライブ」「小型家電回収」のブースを出展します。

フードドライブ(ご家庭で余っている食品の受入れ)

「フードドライブ」とは

ご家庭に余っている食品をご提供いただき、福祉施設等に寄付する取り組みです。食品ロスの削減のために、ご家庭で使用せず保管している食品があれば、ぜひお持ちください！

「もったいない」から「ありがとう」へ

ご提供いただきたい食品

下記の3つを満たすものをお持ちください。

- 常温保存品 例えば…缶詰・レトルト食品・インスタント食品・調味料・お菓子・防災備蓄品・飲料など
- 未開封かつ賞味期限が明記されているもの
- 賞味期限が1か月以上先のもの



家の中に眠っていませんか？

不要になった小型家電の回収

●家庭で使用していた小型家電製品

(例) 携帯電話、スマートフォン・タブレット、デジタルカメラ、フィルムカメラ、ビデオカメラ、ゲーム機(携帯型・据置型)、デジタル等携帯音楽プレーヤー(CD・MDプレーヤー含む)、携帯型映像用機器(DVD / BDプレーヤー、カーナビ、テレビ)、電子辞書、携帯用ラジオ、外付け記憶装置(HDD、USBメモリ、メモリーカード)、ICレコーダ、電卓、機器付属部品(リモコン、ACアダプター、ケーブル、充電器)など



×回収できない品目

- 家電リサイクル法対象商品
(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)
- パソコン(デスクトップ型、ノート型)
- 事業で使用していた家電製品
- 粗大ごみで回収している家電製品

注意事項

- 携帯電話等の個人情報は、必ず消去してお持ちください。
- 乾電池・充電電池や蛍光灯は、取り外して危険・有害ごみとして通常の収集にお出しく下さい。

環境フェスタ以外でも、市役所、各市政センター、コミセン(一部除く)などで使用済みとなった小型家電の拠点回収を行っています。回収ボックスの投入口に入る大きさのものが対象となります。是非ご活用ください。

※車でのご来場はご遠慮ください。自転車でご来場の際は、指定の駐輪場をご利用ください。

環境にやさしい 買い物キャンペーン

買い物にはマイバッグ。
レジ袋の削減にご協力ください。



10月は3R推進月間です。廃棄物の減量に向けた取り組みのひとつとして、「武蔵野市におけるレジ袋削減等に関する協定」に基づき、全国的に循環型社会の形成に向けた取り組みが行われる10月に、「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しております。市では事業者の方々と協力し、レジ袋の削減や食べられるのに捨てられる食品ロスの削減を呼びかけます。

協力企業
団体一覧

アトレ	イトーヨーカ堂	エコス	紀ノ國屋	京王ストア	コープみらい	サミット	ダイエー	東急ストア	ビッグ・エー	
ライフコーポレーション	コミュニティ・ストア	セブン・イレブン	ファミリーマート	ミニストップ	ローソン	武蔵野市商店会連合会	吉祥寺活性化協議会	小田急バス	関東バス	JR東日本

食べられるのに捨てられる

「食品ロス」を減らす買い物

- ✓ 冷蔵庫の中をチェックして必要な分だけ買う。



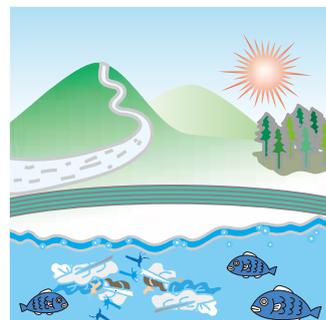
- ✓ すぐに食べる時は手前に置いてある商品を買う。



ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込む「海洋プラスチックごみ」が日々発生しています。

現在、環境省を中心に海に流出するプラスチックの削減に向け、「プラスチックとの賢い付き合い方」を全国的に推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンも実施されています。

買い物の際も、レジ袋などの使い捨てのプラスチック消費を抑えるよう、マイバッグを持参しましょう。



～一人ひとりの行動がごみの減量につながります！
この機会に日頃の買い物について見直してみませんか？～

一般廃棄物処理基本計画（令和元年～令和10年度）がまとまりました。

市では「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの発生抑制・減量・資源化に取り組んでいます。新クリーンセンター竣工や社会経済情勢の変化を受け、この度、基本計画改定時期を前倒しして、令和元年を初年度とする新たな計画を策定しました。

市民1人1日あたりのごみ排出量は、市民の皆さまの努力により少しずつ減少しています。しかし、市内の人口は近年増加しており、しばらくこの傾向は続く見込みであるため、市内から出るごみの総量も増加に転じる可能性があります。

市民・事業者・行政が連携し、一層のごみ減量と資源循環型社会の実現を目指しましょう。

基本
理念

環境負荷の少ない省エネルギー・省資源型の持続可能な都市を目指す。

基本
方針

市民・市民団体・事業者・行政の連携の再構築